

令和5年度「黒岩知事と県民との“対話の広場”地域版（湘南会場）」参加者意見一覧（抜粋）

“対話の広場”地域版（湘南会場）では、当日のご発言以外にも、参加者アンケートにてご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご感想を以下の通りまとめました。（ご意見・ご感想は要約してあります）

地域テーマ（子育てのしやすいコミュニティづくりを目指して!）に関すること

市民にコミュニティ参画してもらうには、例えばボランティアで子供の家に協力すれば、神奈川ペイにボランティアポイントがつくなどのしかけがあればと思います。（茅ヶ崎市・女性）

コミュニティづくりは、自然発生することが一番だと思いますが形として作るとは、難しさもあるかと思います。（横浜市・女性）

子育てが楽しいと思える地域づくりに対して県としてできることとすれば、県民サポートセンター事業のさらなる強化、地域活動への補助、県内の先進事例を集めての事例集作成、その周知・啓発などではないかと思った。（茅ヶ崎市）

新しいコミュニティの形、子ども中心にした、新しいコミュニティづくりは、活動団体やボランティアにより成立している所が多いと体感しています。（茅ヶ崎市）

子ども食堂や障がいを持つ子どもも含めた子育てのしやすいコミュニティづくりの話がでて、子育てのしやすい社会をつくることの難しさを感じました。この対話の広場で出た意見を活かしてどんな子どももすこやかにのびのびと暮らせる社会を目指した施策をすすめていただきたいです。（藤沢市・女性）

多世代交流に関すること

多世代交流を目指して居場所づくりを考えています。うまくいくと良いですが地域の協力が不可欠です。（平塚市・女性）

こども主体の地域づくりをしていきたいとおっしゃっていましたが、私は、このような若者どうしの交流が重要になっていくと思っています。スライドにもあったような、子ども同士の交流場を増やしたり、直接出向いて話をきくなども行っていくといいと思います。（藤沢市・女性）

特別なコミュニティづくりではなく、隣近所や地域の住民同士が多世代で支えあえるようになることが、一番かと思っています。子育てだけに限らず、誰もが楽しく安全に暮らせる社会になるよう一人ひとりが意識しながら、心にゆとりのある社会が実現できればと願っています。（茅ヶ崎市・女性）

その他

全ての問題は、未来の全てのコンディションの子供達に「本物」を残す事を真剣に考える必要があると感じました。※私個人は、本物の自然環境のあり方に興味があります（平塚市・女性）

大学に入る前まで子育てについても考えることが無かったのですが昨今は少子高齢化の話題から子育てについての話題まで課題が多岐に及んでいると思いますが、小学校などの小さい頃からこうした課題について考えることができるような機会を後輩のために作っていただきたいと思った。（寒川町・男性）

障がいをお持ちのお子さんのお母様のお話を聞き、思いましたが、現在の障がい者施設は、人手不足で、離職率も高く、やりがいを感じてこの仕事を好きでやっている、現場の職員も、いつか精神的に疲れ第2のやまゆり園事件が起こってしまうのではないかと、とても不安に感じました。

今は、お子さんでも、将来的に施設入所を考えるとと思います。その頃には入所者、働く側両者が安心して暮らせる様な神奈川になってほしいと願います。よろしくお願ひします。（二宮町・女性）

不登校の件、黒岩知事の考えをきけてよかったです。フリースクールがあわずにフリースクールに行けない子供が実は多くいます。

フリースクールだけの支援だけでなく家庭を基点に学んでいる子供への支援もぜひお願ひします。（女性）

県民が協力して、子育てしやすい場をつくっていくためにはどうしていくことが求められるのか、改めて考えさせられました。その一歩として、まずは明日、友人や家族に話してみたいと思います。（相模原市・女性）